学校番号	408

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新家庭総合」（実教出版）						
副教材等	「新家庭総合　準拠学習ノート」（実教出版） 「家庭科５５デジタル＋」（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に関係するさまざまな内容に対して、知識を身につけ、理解を深めます。
・家庭生活の課題について、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営みを考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身につけます。
・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭，衣食住，消費や環境など，生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的に身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定，解決策を構想・実践，考察するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な人々と協働し，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族･家庭の意義，家族･家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族･家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　自分らしい生き方と家族	1節　自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～	a: 人生の各ライフステージの特徴と課題について理解できる。 b: 自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して，自分や，人の一生についての考えをまとめることができる。 c: 現在の自分のこと，将来の生活設計を考えることについて，意欲を持ってとりくもうとしている。	定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		2節　自立と共生	a: 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 c: 男女共同参画社会など，現在の社会的状況について，興味を持って知ろうとする態度がある。	定期考査		振り返りシート
		3節　ライフキャリア	a: ・生活にかかわる労働の意義，また，現在の労働環境などについて理解できる。 ・現在の生活時間の状況をふまえ，生活時間と労働との関係について理解できる。	定期考査		
		4節　共に生きる家族	a: 結婚，家族・家庭の多様化や，時代とともに変化する役割について理解できる。 b: 図表などから家族の形，家庭のあり方や役割について，また時代とともに変化した背景について読みとることができ，現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め，表現することができる。 c: 結婚，家族・家庭の形，家族・家庭の役割について，自分とどうかかわっているのか，興味・関心をもとうとしている。	定期考査	レポート ワークシート	レポート ワークシート 振り返りシート

		5 節　家族に関する法律	a: 家族に関する法律についての知識を身につけている。 c: 家族，家庭生活に関する法律について関心を持ち，家庭生活と法律との関係について，理解をしようとしている。	定期考査		振り返りシート
2学期	第6章衣生活をつくる	1 節　人と衣服のかかわり	c: 衣生活の文化や，自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち，衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。			振り返りシート
		2 節　衣服の素材の種類と特徴	a: 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ，用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 b: 衣服の用途によって，適切な衣服素材を考え，判断することができる。	定期考査	ワークシート	
		3 節　衣服の選択から管理まで	a: 衣服材料の性能と特徴，衣服整理についての科学的な知識や，縫製技術を身につけることによって，衣服を適切に選択し管理することができる。 b: 衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ，実生活での衣服管理において，適切な判断ができる。	定期考査	ワークシート	
		4 節　持続可能な衣生活をつくる	a: 不要となった衣類について，リサイクルに回す，作りかえるなど，実生活において実践することができる。 b: 現在の衣生活をとりまく状況について，自分の衣生活を振り返りながら，課題を導き出すことができる。	定期考査	ワークシート	
		5 節　私たちがつなぐ衣生活の文化	a: 和服の着装や布地について理解するとともに，和服を活用した衣文化の伝承には，どのようなものがあるかを理解できる。	定期考査		

		6節　衣服をつくろう	a: 衣服製作実習を通して，材料の選択，日常の管理の方法を習得するとともに，基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ，日常着の作成ができる。 c: 衣服実習において，製作活動に意欲的にとりくんでいる。	製作物		進捗シート 自己評価
3学期	第7章住生活をつくる	1節　人間と住まい	a: 住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち，各地の気候・風土に適した住まいを理解している。	定期考査		
		2節　住まいの文化	a: 日本の住まいの歴史や，日本の住まい方の特徴について理解できる。 b: 日本各地の伝統的な住居について，建築的な工夫を見つけることができる。	定期考査	ワークシート	
		3節　住まいを計画する	a: 家族構成やライフステージなどとのかかわりから，平面図を読み取ることができる。 b: ライフステージと住空間の設計の関係，住宅政策や住環境との関係について考えを深めることができる。 c: 住まいの文化や機能，住空間の計画や住環境について関心をもち，快適な住まいづくり，よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。	定期考査	レポート	レポート 振り返りシート
		4節　健康に配慮した快適な室内環境	a: 日照・日射・採光・照明，通気・換気，冷暖房など，健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また，住まいの清掃やメンテナンスについても理解し，快適な生活につなげることができる。 b: 住まいの管理方法について，適切な掃除や頻度を考え，判断することができる。	定期考査	ワークシート	

		5節　安全な住まい	a: 住まいの安全対策，住まいにおける健康管理など，実生活に役立てることができる。 b: 安全な住まいづくりや，快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ，その課題解決のための方策を考えることができる。	定期考査	ワークシート	
		6節　持続可能な住まいづくり	a: 安全で快適な住まいや，社会環境・地域環境についての知識を身につけ，現在の住生活の課題についても認識できる。	定期考査		

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度